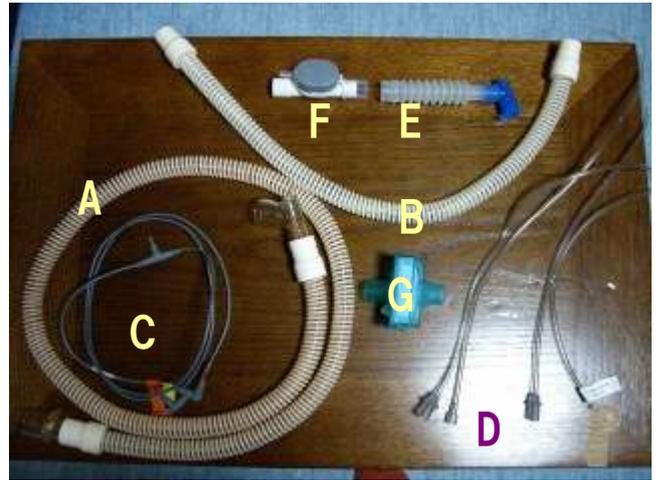


レジェンドエア蛇管交換方法

<前準備>

・滅菌された蛇管の確認

- A: ヒーターワイヤ入り蛇管(長い)・・・1本
- B: ヒーターワイヤなし蛇管(短い)・・・1本
- C: 温度センサプローブ(グレー)・・・1本
- D: クリアチューブ・・・2本
- E: カテーテルマウント(回転コネクタ)・・・1本
- F: 呼気弁(クリアチューブ 2本付)・・・1個 **ディスポ**
- G: バクテリアフィルタ・・・1個 **ディスポ**



(その他ディスポモジュール(釜)MR290・・・1個と注射用蒸留水 1000ml・・・1本が必要)

・蛇管の組み立て

1: カテーテルマウント(E)と呼気弁(F)を繋ぐ

2: バクテリアフィルタ(G)と蛇管(短い)(B)を繋ぐ

3: 蛇管(長い・ワイヤ入り)(A)に、
温度センサプローブ(グレー)(C)を差す。
(T字の方は、熱線の根本に・
金属部分がない方を、反対側の横の穴(口元)に差す)

4: 気道内圧チューブの**グルグル**
(ネジ式)している方を赤矢印の
ように呼気弁の横の**白い方**に
ねじ込み、呼気弁チューブの
大きい方を呼気弁に差し込
んで繋ぐ。



(呼気弁はディスポで

最初から

クリアチューブ 2本が

呼気弁につながっている。)

5: 呼気弁を☺の所に差し、
カテーテルマウントの所に
人工肺(テストバック)を繋ぐ。



これで、

長い蛇管(ヒーターワイヤ入り蛇管+温度センサプローブ+
カテーテルマウント+呼気弁(クリアチューブ 2本))と
短い蛇管(ヒーターワイヤなし蛇管+バクテリアフィルタ)
ができれば準備OK

<交 換>～呼吸器をつないだままやる方法～

1:加湿器の電源をOFF。

2:ピンク→矢印の加湿器本体から上の電源・ヒーターワイヤ根本からそれぞれ抜く。
(写真1・2☆参照)

3:本体のバクテリアフィルタの短い蛇管と差し替えてバクテリアフィルタに繋ぐ。(写真3☆参照)

4:バクテリアフィルタに繋いでいた短い蛇管を加湿器の釜へ差し込む。(写真4)
～～加湿器を通さない状態で、呼吸器から空気が送られる～～

5:蒸留水の刺さっている針の部分をひっこ抜いて結ぶ。
(水が管からたれ落ちないように)

6:短い蛇管ごと、釜をスライドさせてはずす。
(熱いので注意)

7:新しい釜を入れ、蒸留水に繋ぐ(針を刺す)。
～～水が釜に流れてくるのを確認～～

8:準備していた短い蛇管のフィルタなしの方を釜に繋ぐ。

9:準備していた長い蛇管のヒターワイヤ根本の方を釜に繋ぎ、
ピンク→矢印(写真1参照)のコード部分(向きがあるので注意!)を繋ぐ。

10:ガイチを人工鼻にする。
(サチュレーション(SPO2)が下がるようなら、別の人がアンビューをする。)

11:クリアチューブの先をそれぞれ本体に繋ぐ。(右写真参照)
(細いまっすぐな方が上・太い方が下)

12:本体のバクテリアフィルタ(緑色)の部分から蛇管ごと抜き、
準備していたバクテリアフィルタを短い蛇管ごと、本体に繋ぐ。
(バクテリアフィルタの向きに注意!)

13:加湿器の電源を入れる。(本体右下のスイッチ)
～～このとき、ヒーターワイヤがOFFの状態です「ヒーターワイヤ不良・はずれ」
のアラームが鳴らない場合、本体が壊れている可能性がある～～

14: ヒーターワイヤを ONを確認(ボタンが押しづらい)

1

5:呼吸器・加湿器の設定等を確認し、加湿器の温度が上がってから、人工鼻をはずし、ガイチに繋ぎ、確認して修了。
～～ワイヤ部分がまったく、チャンバー(釜)温度が38～40度がベスト。
以前、ワイヤが壊れていた時は、チャンバー温度が60度ぐらいまであがっていた。表示温度(口元温度)だけでなく、チャンバー・ワイヤそれぞれを確認した方がよい～～

